

2025年5月1日

各位

会社名	株式会社エクサウィザーズ		
代表者名	代表取締役社長 CEO	春田 真	
	(コード番号：4259 東証グロース)		
問合せ先	コーポレート統括本部長 CFO	前川 智明	

### ふくおかフィナンシャルグループとの業務提携に関するお知らせ

株式会社エクサウィザーズ（以下、「当社」）は、2025年5月1日開催の経営会議において、ふくおかフィナンシャルグループ（以下、「FFG」）と下記に関する業務提携を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。AI エージェントを利活用することで、FFGの業務変革や生産性向上を実現し、さらに新たな銀行モデルの創出も目指していきます。

#### 記

#### 1. 本提携の目的

当社はこれまで、先端技術にかかる知見や技術力を有する外部パートナーとして、FFGの生成AI活用による既存業務の効率化に係る取り組みを共に推進してまいりました。このたびAIエージェントの実装等にて効果創出が実証されたことから、本提携に至りました。

#### 2. 本提携の内容

今回の業務提携ではAIエージェントの利活用を基に、FFGが保有する豊富な業務データ、及び事業領域におけるノウハウと、エクサウィザーズの先駆的なAI技術、豊富な技術アセット、業務変革力とR&D力を相互に活かしていきます。AIをフル活用した業務の抜本的な変革、さらには新たな銀行モデルの創出を目指します。

具体的な取り組み内容は以下の通りで、2025年5月より随時利用を開始します。

- (1) AIエージェントの活用を前提とした本部業務改革、営業や市場業務の生産性向上、コンプライアンスやリスク管理の高度化など

AIエージェント開発・運用プラットフォーム「exaBase Studio」のAIエージェントやRAG Opsテンプレート等を活用して開発・運用していきます。これまでの両社の取り組みにて、FFGの本部各部から挙げられているAIユースケースのうち約90%について、exaBase Studioで用意しているテンプレートで対応可能なことを

確認しています。またテンプレートを活用することで、FFGのエンジニアにて内製で開発・運用することも可能となります。なお、テンプレートとはアプリケーションのひな型となるものです。

(2) 自律型 AI エージェント等の最先端技術の R&D や業務への適用

先端技術に係る知見や技術力を有する当社エンジニアと、銀行業務に精通した FFG のエンジニアが協業することで、業務適用・効果創出を見越した R&D を推進します。また、成功事例については、将来的に地域企業向けに共同展開することも視野に入れていきます。

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ		
(2) 所在地	福岡県福岡市中央区大手門一丁目 8 番 3 号		
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 五島 久		
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに付帯関連する業務</li> <li>● その他、銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務</li> </ul>		
(5) 資本金	1,247 億円		
(6) 設立年月日	平成 19 年 4 月 2 日		
(7) 大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行 (16.25%)		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は、関連当事者には該当しません。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期 (百万円)	2022 年 3 期	2023 年 3 期	2024 年 3 期
連結純資産 (百万円)	941,066	901,750	1,021,746
連結総資産 (百万円)	29,171,912	29,924,282	32,649,727
1 株当たり連結純資産	4,949.87 円	4,796.99 円	5,397.27 円
連結経常収益 (百万円)	280,427	331,323	404,743
連結経常利益 (百万円)	76,086	50,050	56,937
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	54,118	31,152	61,178

#### 4. 本業務提携の日程

(1) 経営会議決議日	2025年5月1日
(2) 業務提携契約締結日	2025年5月1日
(3) 業務提携開始日	2025年5月1日

#### 5. 今後の見通し

本件業務提携が当社の業績に与える影響は精査中ですが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えています。合理的な算定が可能となり、また業績に重要な影響を与えると判明した場合には、速やかに開示します。

以 上